公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ふぃーる						
○保護者評価実施期間		2024年 9月21日	~	2025年 9月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)	29			
○従業者評価実施期間		2025年 2月11日	~	2025年 9月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9			
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月30日						

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	2つの放課後等デイサービス(小学生対象事業所と中高生対象事業所)と生活介護事業所を運営しているので、切れ目なく一人の利用者様に長期間にかかわる支援が出来る	事業所間でのきめ細かい情報共有	・ライフステージ変化時の情報提供等 ・日常生活に必要なスキルを身に着けられるように取り組み ながら、卒業後を見据えた活動をしています。
2	保護者様との連携やコミュニケーションの充実	ライン、連絡帳、送迎時にその日の様子を伝える	可能な限り研修等の機会を設け、職員のスキルアップに努めています。個別の課題や支援については、半年に1度の面談時に課題に合わせたアドバイス等を行っています。また、日々のご利用者様の活動風景を、インスタグラム・会報等で発信し、活動の様子や関わりが伝わる様に取り組んでます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者様との地域交流不足	集団活動への参加が難しいご利用者が多いため交流が出来て おりません。	安全面を考慮しながら、ご利用者様に負担が掛からないよう 企画・提供出来るよう取り組んでまいります。また、季節ご とのイベントや催し物に参加させていただき地域の方々と少 しでも交流できる機会を設けていきます。
2	保護者会等の開催や、保護者同士での交流不足	当事業所としては、保護者様主体で、法人としての立場は後 方支援と考えております。	ご相談等がありましたら,受け賜わります
3	活動のスペース不足を感じることがある	ハード面に関しては変更することが現在のところ難しく申し 訳ございません	各フロアごとに分かれて活動し、支援内容及びスペースの工 夫に努めています。学習グループと作業グループ、外活動と 室内グループに分けて時間で交代する等してスペース確保に 努めます。

公表

18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。

## 事業所における自己評価結果

			所におけ 		1100000		
事業所名		放課後等 デイサービス ふぃーる			公表日	長日 2025年 12月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	4	・1,2階に分かれて活動	・クールダウンの部屋があるとよい	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	5		<ul><li>・職員が足りていないと思う場面がある。</li><li>・足りないと感じる時がある</li></ul>	
· 体 制	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	3	・バリアフリーになってはいないが、環境を 整える工夫や改善を日々進めている。	・段差が玄関等に有り2階に上がる時は階段 登る、外に出るスロープはない。	
整備	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	4	・一時的な場所だが少しクールダウンが出来 る場所はある		
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9				
<b></b>	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9				
業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に つなげているか。	8	1		・月に一度パートを含めたミーティングがあ ると良い	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	1	8			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	9		・オンライン研修		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計 画を作成しているか。					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援 が行われているか。	9				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9				
適切な支	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9				
援			_				

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9			
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	9			
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9			
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組 み合わせて支援を行っているか。	9			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決 定をする力を育てるための支援を行っているか。	9			
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1		
28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡) を適切に行っているか。	9			
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9			
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	9			
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1		
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	8		
33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	9			
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	9			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム (ペアレント・トレーニング等) や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9			
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	9			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37	20	20 内容や保育が出ているか。 21 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 22 日々の支援に関して記録をとることを敬底し、支援の検証・改善に つなげているか。 23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 24 放課後等デイサービスカイドラインの「4つの基本活動」を複数組 か合わせて支援を行っているか。 25 ごどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等。自己決 定をする力を育てるための支援を行っているか。 26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのごどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 27 財域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 28 対策の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 29 対策所の確認等)、連絡調整(該辺時の対応、トラブル発生時の連絡) 空週切に行っているか。 29 規事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 29 規事業所等との間で情報は与と相互理解に努めているか。 30 やん移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーパイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。 32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 33 (自立支援)協議会等へ積機的に参加しているか。 34 間頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。 35 方ム (パアレント・トレーニング等) や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 36 遠望規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思をでは、など、保護者の意知の意理、こどもの融資の利益の保証する機会を設けているか。 38 が成果後等デイサービスは両上を示しながら支援内容の説明を行っているか。 39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必 39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必 39 家族等からの子育での悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必 39 家族等からの子育での悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必	28	19

保護者への	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		9	
説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 をしているか。	9		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を 図っているか。	1	8	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、 定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		
非常	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応 がされているか。	9		
時等の	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		
対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全 計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について 検討をしているか。	9		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を しているか。	9		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に 決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放 課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

放課後等デイサービス ふぃーる

公表日 2025年 12月15日

利用児童数 29人 2025年9月30日

回収数 29回収/29配布

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	3	1	1	・子供たちの体も大きいとおもわれるので 少し 狭い気がします。・高校生で体が大きくなったぶ ん人数によっては手狭かもしれません。	1階と2階フロアに分かれて活動し、支 援内容及びスペースの工夫に努めていま す。
境・体	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	2		6	・利用時に何人のスタッフさんがいらっ しゃるか知らないです。	・職員の配置に関しましては、指定基準を順守して おります。ご利用者10名までの場合は児童指導員3 名以上配置、11人以上の場合には児童指導員4名以 上を配置しております。
制整備	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	3	1	1	・昔ながらの家なので、バリアフリー化 は少ない気がします。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	1		1	・ゴチャゴチャしていなくて良いと思います。	
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	28			1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	28			1		
適切	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	28	1				
がな支援の提	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	1				
供	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	27			2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	10	7	5	7	<ul><li>・地域の他の子どもと活動しているかは知りませんが、サインやピリナとの交流は良いですね。</li><li>・今は無いけど機会があれば交流して欲しい。</li></ul>	様々なお子様との活動や交流はありませんが、今後は取り組んで参りたいと思います。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	29					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	29					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ベアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	10	3	7		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	28	1				
保	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	2				
護者へ	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	2			・いつも子供の様子をしっかり見ていて くれるので とても助かります。	
の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	11	8	7	<ul><li>・あまり利用してないと思うのでよくわかりません。・過去に開催されていたが、この所は機会がない。</li></ul>	保護者会等に関しましては当法人として は保護者様主体で、法人としての立場は 後方支援と考えております。ご相談があ れば受け賜わります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されている とともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	23	2	1	3		

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると 思いますか。	28	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	1	2	
非	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29			
常時等	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓 練が行われていますか。	29			
の対応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28		1	
,,,	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26		3	・経験していないので わかりません。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	27	1	1	
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26	2	1	・楽しみ過ぎて閉所日は悲しそうです。 ・本人の性質上、楽しみにすることが出来ません が、通うと様々な配慮の中で楽しく活動させて頂 いてます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	1		・大変満足です。感謝しかありません。

ご協力ありがとうございました。

ご意見を参考にして、より良い支援の提供が出来るように活用させていただきます。

株式会社 AHサポート 放課後等デイサービス ふぃーる